

湖山の宝発掘プロジェクト かすみがうら市推奨品 候補を募集!!

かすみがうら市産の農林水産物やその加工品を市の推奨品に認定し、認知・信頼を高め需要の拡大を目指します。

推奨品として認定するもの

市内に住所または事業所がある生産者と団体による農林水産物またはその加工品。

農林水産物

次の各号のいずれかに該当する農林水産物で、日本第2の湖「霞ヶ浦」の環境にやさしい農林水産業に取り組んでいることが認められるもの。

- エコファーマーの認証を取得しているもの
- 有機農産物であるもの
- いばらきエコ農産物（特別栽培を含む）の認証を取得しているもの
- 基礎GAPなどに取り組むとともに、環境負荷の少ない農業に取り組んでいると認められるもの
- 国または県において催された展示会・品評会等で入賞したもの

加工品

次の各号のいずれにも該当するもので、市特産品となりうるもの。

- 品質が優秀であると認められるもの
- 郷土色が豊かなもの
- 市産の農林水産物を使用したもの

田園ブランド化推進会議事務局（農林水産課）

☎内線 2504

ブランド化推進会議で認定

かすみがうら市ブランド化推進会議は、推奨品認定審査会を設置し、『湖山の宝』の推奨品としてふさわしいものを認定します。

推奨品に認定されると、推奨証のロゴマークを使用することができます。（3年有効・更新有り。）



農業を新規に

「トレーニングファーム運営事業」で新規就農を応援！

申し込み・問い合わせは…

農林水産課 ☎内線 2504

新規就農者不足の現状を打破

■全国的な担い手不足
市の施政方針で農業の復興を掲げ、産業の活性化を目指しており、その意欲のある担い手を募集しています。
近年の茨城県全体の新規就農者数は年200人前後。このうち、後継者を除く新規参入事例は、1市町村あたり年1人未満。かすみがうら市でも平成20年度中の新規参入者は2人でした。

■新規就農への課題
農業に興味がありながら新規参入をためらう理由に、①技術の取得②準備資金の調達、③採算性などとともに、④農地の確保が大きな障壁となっています。新規参入であるがゆえ地権者からの借地がままならず、50アール以上の農地を確保できずに就農に結びつかないケースがあります。また、農業委員会によ

る全筆調査により、市内全体の耕作放棄地は、約317ヘクタール（うち農振農用地は約90ヘクタール）で、畑地帯に多いことがわかりました。
トレーニングファーム運営事業は、耕作放棄地対策であるとともに、これら就農への課題を克服し、意欲のある方を市と地域が応援する制度です。

始めたい方募集!!

3つの応援策

その1

農地を低料
金で貸与



その2

地域の輪
を促進



その3

農業後見人
による助言



農業に興味のある 方を募集

- 対象Ⅱ市内在住の16歳以上の方で、将来的に販売農家を目指す意欲のある方。
- 〔定年帰農（予定）者、兼業志向者など〕
- 定員Ⅱ5人（審査をし選定します。）
- 申込期限日Ⅱ8月31日（月）
- 栽培作物Ⅱ原則として、畑

トレーニングファーム運営方法

- 研修期間Ⅱ原則として1年間。（更新有り。）
- 農地利用料Ⅱ1年間無料。2年目以降は10アール当たり年間1万円。
- ただし、トレーニング期間中の耕作を担保するため、保証金として5万円を市に預けることとします。

地の作物とします。

トレーニングファーム運営事業の流れ

